



書道家
武田双龍



先月の「イカす人・綺麗な人」珠玉の言葉
荻原次晴

×



第十三筆

この瞬間、自分はプロか。

荻原次晴

テレビに出る人間というのは、エンターテイナーでなければいけないと思うんですよ。観ている人をどれだけ幸せにできるか。仕事でなくても、街に出たときに、おばちゃんが話しかけてくれたとき、その人を幸せにできるか、ということを考えて答えるんです。選手時代やセカンドキャリアに入ったときは、いま、プライベートなので遠慮してください、ということがありました。いまは感謝をもってプロとして接しています。瞬間が勝負なんです。

武田双龍

頭の中をからっぽにしつつ、筆に意思を持たせました。

昭和五十九年熊本県生まれ。三歳より書を学び始め、母・武田双葉に師事。書道家・武田双雲は実兄。書道教室 ふたばの街を開講。テレビや新聞、雑誌など幅広いメディアで活動中。
<http://so-ryu.com/>